

# 感染症情報 1月27日～2月2日

府下小児科193医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,400例	(堺市 121例)
②RSウイルス感染症	333例	(堺市 19例)
③溶連菌感染症	292例	(堺市 50例)
④伝染性紅斑	45例	(堺市 0例)
⑤咽頭結膜熱	39例	(堺市 2例)

府下301医療機関(堺市29)から

**インフルエンザ 1,005例(堺市 135例)**

報告数による順位。前週比12.3%増の2,217件であった。感染性胃腸炎が府下で前週から20%増、堺市で前週96例→今回121例。RSウイルス感染症が府下で7%増、堺市で前回14例→今回19例。溶連菌感染症が府下で前回と同数、堺市で前週36例→今回50例。伝染性紅斑が府下で7%増、堺市で前週2例→今回0例。咽頭結膜熱が府下で39%減、堺市で前週9例→今回2例。

流行性角結膜炎が定点あたりでは4位に入っている。

基幹定点だけが報告するマイコプラズマ肺炎は、大阪府で前週8例→今回9例。堺市で前週2例→今回5例であった。

インフルエンザが府下で前週2,005例→今回1,005例で50%減。堺市は前週177例→今回135例で24%減。定点当たり大阪府は3.34、堺市は4.66であった。

府下301医療機関(堺市29)から

**新型コロナウイルス感染症 1,293例(堺市 125例)**  
**大阪府定点 4.30 堺市定点 4.31**

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
50	138	217	239	67	98	103	92	74	94	121	1293

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回1,154例→今回1,293例で12%増、定点当たり3.83→4.30であった。堺市で前週132例→今回125例で5%減、定点当たり4.55→4.31であった。0～19歳で全体の50%を占めた。

麻疹や風疹の報告はなかった。